

土木学会

鋼構造委員会 鋼構造講習会

鋼橋の維持管理に関する講習会

平成 17 年 10 月

土木学会 鋼構造委員会

鋼構造継続教育推進小委員会

## まえがき

近年、土木学会内では土木技術者の生涯学習の必要性が強く叫ばれ、具体的な生涯教育プログラムが策定、実行され成果をあげつつあります。最新・最先端技術に関しては鋼構造委員会の小委員会で調査研究が行われ、委員会活動中の中間報告あるいは終了後の活動報告としてシンポジウム等で紹介、報告されCPDポイントとして生涯教育に活かされており。しかし、これらの小委員会活動は比較的専門性が高く、シンポジウムの内容も開発研究的な要素が多いことから中級、上級技術者を対象とした継続教育プログラムとも位置付けられます。一方、初級、中級技術者や上級技術者でも専門分野外の基礎技術を習得するための継続教育を目的とした講習会は残念ながら意外に少ないのが現状でした。

このような背景から、鋼構造委員会では鋼構造継続教育推進小委員会を設置し、若手技術者および、今まで当該のトピックを専門としていない技術者を対象に基礎的な講習会を実施してまいりました。このような活動の一環として、今回、「鋼橋の維持管理」をテーマに講習会を企画しました。

構造物の老朽化や大型車両の増加に伴い、疲労が原因と思われる損傷が鋼構造物に発生しています。さらに、製作方法に起因すると考えられる損傷も発生しており、損傷に対する適切な判断、補修を行うことは、安全・安心な社会基盤を維持する上で、今後ますます重要となりつつあります。

本講座では阪神高速道路株式会社のご協力を得て、鋼橋の疲労対策の現場見学会と、疲労損傷の専門家の方々から講義をしていただく企画となっています。実構造物の損傷については、大学等の教育機関でもあまり教育がなされてこなかったことから、まず、鋼構造物の損傷と補修の実態を見学し、その後、理論的裏付けや、疲労設計の方法、対策法を講義していただくことといたしました。若手技術者の方や、鋼構造物の疲労設計をこれから勉強したい方、疲労など維持管理関連の課題をお持ちの方々に本企画が有意義なものとなれば幸いです。

平成17年10月  
鋼構造継続教育推進小委員会  
委員長 奥井義昭

登録 番号	平成17年12月22日
	第 <b>54634</b> 号
社団法人 土木学会	
附属 土木図書館	

## 目 次

疲労のメカニズムと疲労設計	
坂野 昌弘    関西大学	1
疲労損傷の現状と課題	
玉越 隆史    国土技術政策総合研究所	9
道路構造物の損傷事例と対策	
高田 佳彦    阪神高速道路（株）	17
鉄道構造物の損傷事例と対策	
木村 元哉    西日本旅客鉄道（株）	29